

最終講義お楽しみ会(溝口教授) -2025年3月1日(土) 場所:東大農学部弥生講堂 オンライン:zoom-URL
対面講義参加者134名、懇親会参加者101名(講義および懇親会参加者は、当日増えているかもしれません?)

■準備等 当日の東京大学



農学部正門前は平穏でした。



正門の扉が開いていて、空いた扉の向こう側に本日の最終講義の立て看板が立っていました。



正門を通過して左側の弥生講堂アネックス前に、秋田犬のハチ公と上野博士のモニュメントがあります。



正面のゲートを通過してしばらく歩くと、左側に農学部2号館、正面には農学部3号館が見えます。



最終講義の立て看板です。会場の弥生講堂では、荒木先生も立ち会って、受付の準備中されていました。



準備のため、弥生講堂の玄関から小走りで移動する溝口先生をお見かけしました。朝からエネルギッシュです。



農学部2号館の北側に2号館別館があります。



※農学部とは別の敷地、本部に安田講堂があります。

第0部 10:00-12:00 Mizo と Taikan トーク

30年前から付き合いのあった溝口教授と沖大幹教授との対談を2人を良く知る若手研究者がリードします。

MC: 吉田貢士/新領域創成科学研究科教授・乃田啓吾/農学生命科学研究科准教授



溝口先生は、開催直前まで会場に足を運んで、準備をされていました。



トーク前に、中島みゆきの「ホームにて」をギター弾きながら歌い、歌詞に共感する思いを語られました。



吉田先生によるシナリオ説明、乃田先生による司会進行。トークの盛り上がりや期待を込めて、VS としてあることにも触れていました。期待通りに、トークは盛り上がりました。沖先生が「先生、今日は〇〇」と

溝口先生の心のバイアスを下げるように誘導し、様々なお話を引き出させていただきました。素晴らしい！





先生方の肩越しに、ランを写しましたよ！



先生方のトークにて、内閣府お勤め時の苦労話を笑いに換えるポジティブ姿勢に学びをいただきました。ありがとうございました。（ひな人形は弥生講堂内の一コマ）



大学のシンボル、イチョウは剪定されていました。敷地内の木々はしっかりと管理されています。

第1部 13:00-14:50 出席者と壇上トーク（卒業生やゆかりのある知人など）

みんなでアンケートの【溝口の法則】 Mizo's law に答えて会場でその真偽を問いましょう。

【補助資料】 Mizo ちゃんの考えたこと 自分の名前はありますか？ 当時のことを覚えていますか？

MC 他: みぞらぼの現役学生 (MC: 内山君、マイク係: 等)



杉野先生が、会場からコメントをスマホから集める仕掛けを紹介してくださいました。



内山さんの司会で始まりました。



左から、野田坂さん、畑上さん、上坂さん、吉浦さん、落合さん。皆さんがそれぞれの思い出を話しました。



Mizo's lawの真意を溝口先生からいただきました。



溝口先生の陸上部同期・室城さんからのコメント



バカになれる学生時代の信頼関係は永続的ですね。素敵です。



酔郷処ちどりのマスター・原島さん。退官するまで店を営業する約束でした。でもまだ続けてください。



明大・登尾先生、「僕があるのは溝口先生のおかげです」



杉野先生、農業土木は「自然と人間の調和学」を創る



中国から当日早朝に成田空港に到着した章さん、「自信は黄金より重い・・・」



後藤さん、先生は助手時代に麻雀の合間に授業していた



小椋さん、「中古冷蔵庫で凍結実験装置を工夫」



宮城大・千葉先生 「人はこんなに変わる」



台湾から駆けつけた林さん、「体力・食欲・ジョーク」



孫弟子の浅野さん、面白いとことを持ってきて・・・



堀川さん、「現場に新しい課題が転がっている」



ふくしま再生の会・田尾さん、「若い人と老人は自由」



飯舘村農家の宗夫さん、「現場で学ぶ」



廣住さん、中島みゆき（ピンボケですみません）



西村先生、「データを取っとけば。。。」



内山さん、「研究は現場でやるもんだ」



溝口先生も納得の法則？

第2部 15:00-16:50 (公式) 最終講義

「自分は大学に向いていたのだろうか？—大学47年の雑種人生を振り返る」【プレゼン資料】

MC: 荒木徹也/研究室准教授

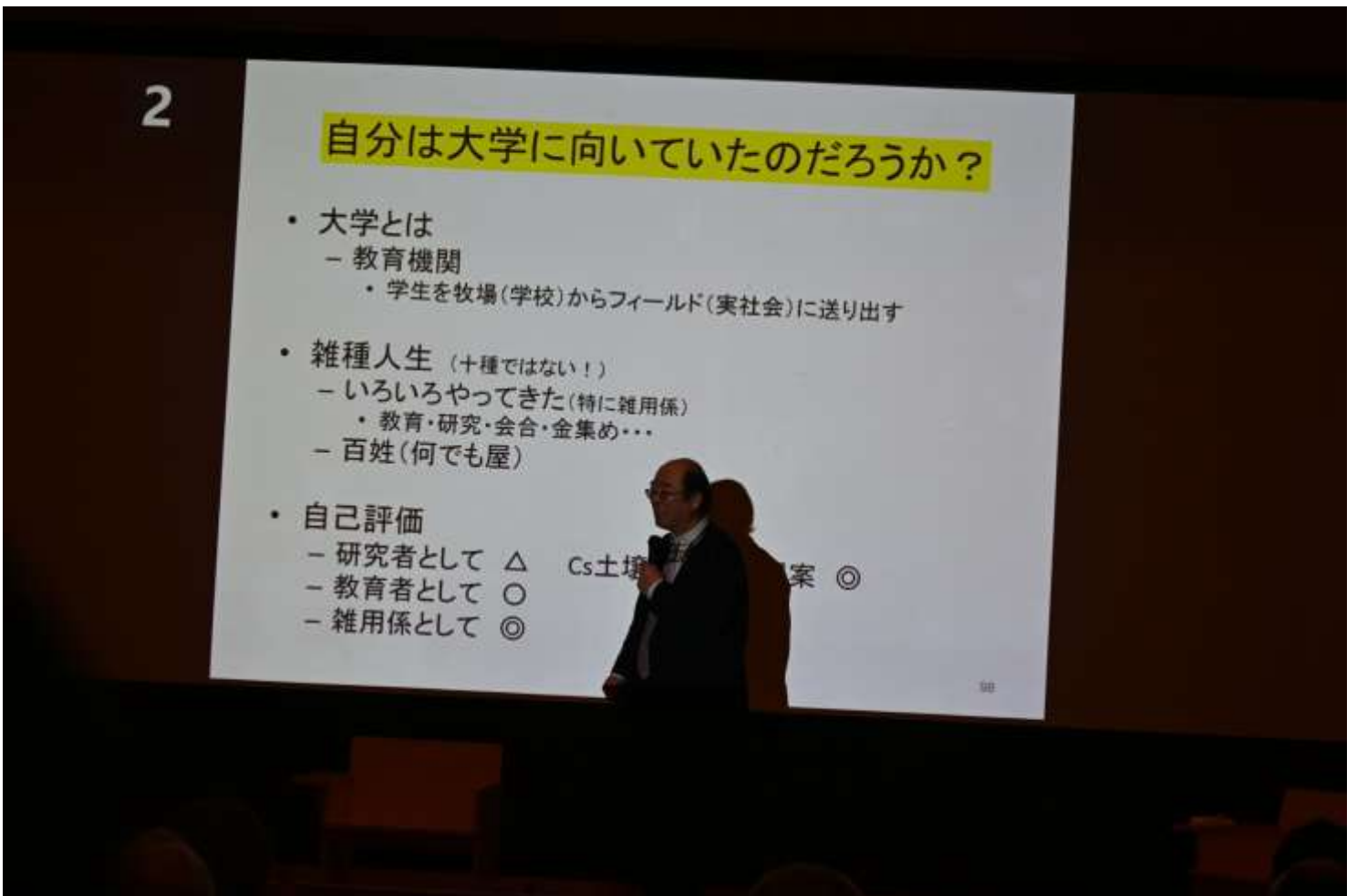


荒木先生の司会で、第2部開催。





第2部は、第0部・第1部までと違って、溝口先生の顔つきが変わりました。

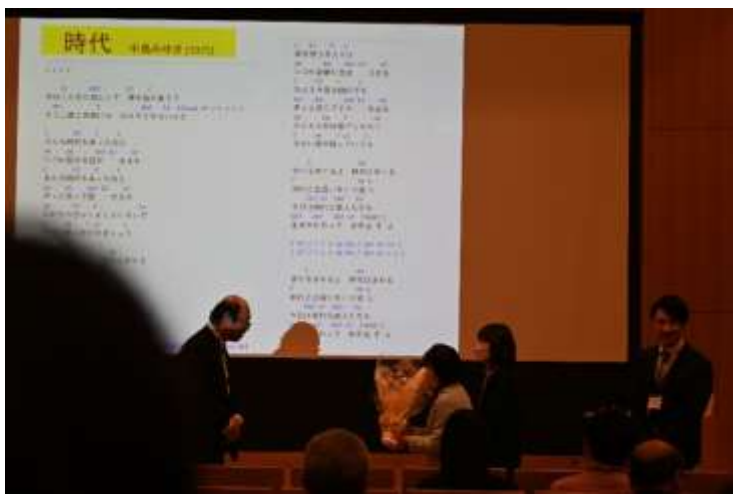


2

自分は大学に向いていたのだろうか？

- 大学とは
 - 教育機関
 - 学生を牧場(学校)からフィールド(実社会)に送り出す
- 雑種人生 (十種ではない！)
 - いろいろやってきた(特に雑用係)
 - 教育・研究・会合・金集め...
 - 百姓(何でも屋)
- 自己評価
 - 研究者として △ Cs土壤 案 ◎
 - 教育者として ○
 - 雑用係として ◎

溝口先生はスライドの前に出て、熱烈講義をされました。



最後に、「時代」をギターを弾きながら歌おうとされますが・・・断念。 花束贈呈。



花束贈呈後、溝口先生は現役メンバーとの集合写真に納まりました。



皆さん笑顔です。溝口先生、前日までスライドの準備をしてくださり、ありがとうございます。



荒木先生の司会で懇親会が始まりました。吟醸酒「不死鳥の如く」はおいしかったです。ワインもありました。



様々なお酒があり……。福島で学生さんがホップを育てて、作った地ビールが、1缶だけ提供されました。



溝口先生に学生さんから贈られたジョッキに地ビールを注いで、乾杯しましょう。



地ビールなど、福島で活躍した学生さんとの1枚です。皆さん、いい笑顔ですね。



懇親会では溝口先生を囲んで話の輪が広がります。大学は出会いの場、先生を核にして交流が活発になりますね。



溝口先生を慕って全国から集まりました。

東京大学の歌「ただ一つ」(応援歌) 熱唱



応援歌を皆さんで歌おうと、溝口先生からの提案です。



東大現役生・OB・OGによる応援歌の合唱！



第3部の参加者です。皆さんいい笑顔をいただきました。ありがとうございます。



溝口先生の娘さん夫婦が参加してくださいました。溝口先生、少し照れているかもしれませんね。



学生になった気分で楽しくお酒を楽しみました。とても充実した時間を過ごせたことに感謝いたします。



目の前のお酒は、ぼぼ飲み干しました。 正門が閉じる時間まで、話を聞き語らった、素晴らしい日でした。